

# ふるさと納税

## ふるさと納税とは

ふるさと納税は、地方自治体への「寄附」のことを言います。生まれ育ったふるさとや、応援したい自治体へ「寄附」をすることで、その自治体を応援することができます。原則として自己負担額2,000円を除いた寄附金額が控除の対象となります。

## 町田市のふるさと納税

町田市では、寄附者の想いを事業へ反映させることで、町田市がみなさまの応援に応え、より良い街となるよう取り組んでいます。

## 返礼品

市外在住の方には、お礼の品をご用意しています。お好みの返礼品をお選びください。



まちだシルクメロン  
和洋菓子セット



町田リス園 入園券2枚  
(エサ袋2枚付)



侍・武士道体験



クロイツェルセレクト



CHERUBIM オーダー自転車



町田の恵み 調味料セット

※上記は一例です。詳しくは、ふるさと納税募集サイトをご覧ください

# 寄附申出書

## 1. 寄附者

日付	年 月 日
フリガナ	
氏名	
住所	〒
電話番号	
メールアドレス	

## 2. 寄附金額

¥

## 3. 払込方法

希望	払込方法
<input type="checkbox"/>	納付書払い
<input type="checkbox"/>	口座振込（手数料は自己負担です。）

## 4. 寄附金の使い途

没後1周年 森村誠一展を開催しよう！

## 5. 寄附金控除の手続き

該当	手続き
<input type="checkbox"/>	ワンストップ特例制度を希望する

## 6. 寄附者情報の公表

該当	手続き
<input type="checkbox"/>	ホームページ等での氏名、市区町村、寄附金の使い途の公表を希望する。

書面による寄附を希望される場合は、上記をご記入の上、町田市財政課へご郵送ください。

担当課記入欄					
受付		システム入力		確認	
/		/		/	

# 町田市ふるさと納税

森村誠一の足跡を振り返る。  
没後1周年展を開催しよう！



町田市名誉市民である森村誠一氏の没後1周年に合わせて、大衆に寄り添った作品を数多く生み出し続けた作家・森村誠一の足跡を振り返る特別展を企画します。

▼以下のサイトから寄附ができます。

ふるさと納税で



〒194-8520

町田市森野2-2-22

町田市 財務部 財政課

TEL 042-724-2149

furusato@city.machida.tokyo.jp

ふるさとチョイス  
ガバメントクラウドファンディング



このリーフレットは、3,000部作成し、1部当たりの単価は12円です。

## ■作家・森村誠一

1933年1月2日生まれ。

幼少の頃から読書を好み、冒険小説や探偵小説に熱中。1945年、熊谷空襲で被災したことが、作家を目指す原体験となった。大学卒業後、ホテルマンとして勤務するかわらサラリーマン向けのエッセイを執筆。

1969年に『高層の死角』で第15回江戸川乱歩賞、1972年に『腐食の構造』で第26回推理作家協会賞を受賞。

1976年に『人間の証明』が映画化されると、それに続く「証明」シリーズなどで多くの読者を獲得し、推理小説作家として確固たる地位を築いた。

2004年に第7回日本ミステリー文学大賞、2011年に時代小説『悪道』で第45回吉川治文学賞を受賞。

2023年7月24日、90年の生涯を閉じた。

## ■町田市と森村誠一

1991年から町田市に居住され、2002年に「町田市文学館開設準備懇談会」の会長に就任。2006年の町田市民文学館ことばらんの開館に向けて、尽力されました。

さらに2010年には、貴重な原稿や直筆ノート等236点を町田市に寄贈するなど、市の文学・文化発展に大いに貢献されました。

その功績を称え、2022年に町田市名誉市民となりました。

## ■町田市民文学館ことばらんど

町田市民文学館の開館にあたり、開設準備懇談会の会長を務められ、「開館記念展ことばの森の住人たち—町田ゆかりの文学者」の図録に巻頭言を寄稿してくださいました。



今日の文化には悪い文化もありますが、そもそも文化の精神が、人間が人間らしく生きるための教化と、幸福のための生活の多様化にありました。文化の本来の精神が見失われ、物質文明の発展に偏っている今日、人間の精神的な生活を見直す文化の中核である市民文学館の開設が、町田市、および地域社会の発展に計り知れないことは疑いありません。町田市の市民文学館は地域と時代のニーズに応じて登場したといえましょう。市民の皆さんにもできるだけ多く文学館を利用され、我が郷里が培った精神的文化の厚みを共有していただきたいと思います。

## ■没後1周年 森村誠一展



森村誠一氏の没後1周年に合わせ、2024年秋に回顧展を開催します。

作家・森村誠一は、社会派推理作家としてデビューし、のちに角川映画を通じて推理小説の愛好者をサラリーマンや主婦層にまで広げました。

映像化（映画化/テレビドラマ化）されお茶の間で親しまれた作品の上映や、作品に登場する個性豊かなキャラクターたちの姿を通じて、大衆に寄り添った作品を発表し続けた森村誠一の再評価を促し、その現代的な意味を問う企画とします。



## ■これまでにご紹介した主な展覧会

まちだ作家博覧会展

会期：2009年4月25日から7月5日

開館3周年記念特別企画展

森村誠一展 — 拡大する文学

会期：2009年10月17日から2010年1月17日